



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年10月25日

上場会社名 株式会社カインス 上場取引所 東
 コード番号 4556 URL <http://www.kainos.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長津行宏
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部本部長 (氏名) 林司 TEL 03-3816-4123
 四半期報告書提出予定日 2022年11月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,512	7.8	511	15.6	527	18.7	358	19.2
2022年3月期第2四半期	2,330	11.7	442	37.9	444	36.2	301	49.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	85.99	—
2022年3月期第2四半期	73.58	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,814	5,447	69.7
2022年3月期	7,571	5,200	68.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 5,447百万円 2022年3月期 5,200百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	10.5	900	20.4	900	15.7	600	17.1	143.75

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	4,558,860株	2022年3月期	4,558,860株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	384,800株	2022年3月期	385,156株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	4,173,800株	2022年3月期2Q	4,093,704株

(注) 期末自己株式には、「株式会社日本カストディ銀行（信託E口）」が保有する当社株式(2023年3月期2Q 275,100株、2022年3月期275,500株)が含まれております。また、「株式会社日本カストディ銀行（信託E口）」が保有する株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2023年3月期2Q 275,386株、2022年3月期2Q 275,500株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第2四半期累計期間	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の第7波流行とされる感染者数の急増がありましたが、行動制限の緩和等から社会経済活動の正常化が進み、景気は持ち直しの動きが見られました。しかしながら、ウクライナ情勢の深刻化や急速な円安の進行による原材料価格の高騰等から、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

臨床検査業界においては、感染再拡大に伴い新型コロナウイルス検査市場が急速に伸長する一方、その感染防止のため医療機関の訪問規制等が続いていますが、診断や治療等に不可欠な臨床検査試薬及び機器の需要に変化はありません。

このような状況の中、当社におきましては、大学病院等の基幹病院を中心に、各種マルチキャリブレーターを活用した生化学重点項目の拡販活動を継続した結果、売上は堅調です。輸血検査分野では、顧客満足度向上のためにウェブセミナーの定期開催と合わせ、全自動輸血検査装置の新規設置及び更新に取り組んでいます。上期における輸血装置設置の実績は予算未達となりましたが、海外向けの免疫検査試薬及び新型コロナウイルス遺伝子の簡易・短時間検出可能な商品売上が業績を補完しました。

この結果、当第2四半期累計期間の当社売上高は25億1千2百万円（前年同期比7.8%増）となりました。営業利益は5億1千1百万円（前年同期比15.6%増）、経常利益は5億2千7百万円（前年同期比18.7%増）、四半期純利益は3億5千8百万円（前年同期比19.2%増）となりました。

検査分野別売上高

(単位：千円)

		前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
		金額	構成比	金額	構成比
製 品	生化学的検査用試薬	1,101,580	47.3	1,167,453	46.5
	免疫血清学的検査用試薬	826,528	35.5	870,285	34.6
	その他	98,999	4.2	97,087	3.9
	計	2,027,109	87.0	2,134,826	85.0
商 品	生化学的検査用試薬	42,559	1.8	59,311	2.4
	免疫血清学的検査用試薬	259,616	11.1	290,637	11.6
	その他	722	0.0	27,886	1.1
	計	302,897	13.0	377,835	15.0
合 計	生化学的検査用試薬	1,144,139	49.1	1,226,765	48.8
	免疫血清学的検査用試薬	1,086,145	46.6	1,160,922	46.2
	その他	99,722	4.3	124,973	5.0
	計	2,330,007	100.0	2,512,662	100.0

(注) 数量については、取扱品目が多岐にわたり数量表示が困難なために記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における資産合計は78億1千4百万円となり、前事業年度末と比べ2億4千3百万円の増加となりました。流動資産は49億7千2百万円となり、前事業年度末と比べ2億8千1百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金が1億5千1百万円、受取手形及び売掛金が1億1千5百万円、棚卸資産が1千8百万円増加したこと等によります。固定資産は28億4千2百万円となり、前事業年度末と比べ3千8百万円の減少となりました。その主な要因は、固定資産の取得により4千万円増加し、繰延税金資産が6百万円、減価償却の進捗に伴い7千万円減少したこと等によります。

当第2四半期会計期間末における負債合計は23億6千7百万円となり、前事業年度末と比べ3百万円の減少となりました。その主な要因は、未払消費税等が2千6百万円、賞与引当金が1千2百万円増加し、未払費用が4千9百万円減少したこと等によります。

当第2四半期会計期間末における純資産合計は54億4千7百万円となり、前事業年度末と比べ2億4千7百万円の増加となりました。その主な要因は、配当金の支払いによる減少と、四半期純利益により増加したこと等によります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は24億8千7百万円となり、前事業年度末と比べ1億5千1百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動は2億8千5百万円の資金の増加（前年同期は1億8千万円の増加）となりました。その主な要因は、売上債権の増加1億1千5百万円、法人税等の支払1億6千9百万円により減少し、税引前四半期純利益5億2千6百万円、減価償却の進捗により7千万円増加したこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動は4百万円の資金の支出（前年同期は4千8百万円の支出）となりました。その主な要因は、建物設備改修等の支出によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動は1億3千万円の資金の支出（前年同期は1億4百万円の支出）となりました。その主な要因は、配当金の支払い1億1千1百万円等によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月9日に公表した業績予想を、2022年10月13日に修正しております。詳細につきましては、2022年10月13日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。現時点では、この修正した業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,676,787	2,827,958
受取手形及び売掛金	1,332,569	1,447,697
商品及び製品	330,783	294,659
仕掛品	69,568	85,080
原材料及び貯蔵品	247,247	286,015
その他	33,315	30,783
流動資産合計	4,690,271	4,972,194
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	576,519	563,005
土地	1,786,539	1,786,539
その他(純額)	171,824	164,799
有形固定資産合計	2,534,882	2,514,344
無形固定資産	57,106	47,460
投資その他の資産	289,254	280,940
固定資産合計	2,881,243	2,842,745
資産合計	7,571,515	7,814,940
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	536,113	524,123
短期借入金	380,000	480,000
未払法人税等	184,616	175,655
賞与引当金	123,300	136,230
その他	557,098	539,112
流動負債合計	1,781,129	1,855,121
固定負債		
長期借入金	500,000	400,000
株式給付引当金	8,818	8,234
役員株式給付引当金	31,695	40,883
その他	49,741	63,183
固定負債合計	590,255	512,300
負債合計	2,371,384	2,367,422
純資産の部		
株主資本		
資本金	831,413	831,413
資本剰余金	940,233	940,233
利益剰余金	3,665,825	3,913,510
自己株式	△269,080	△268,897
株主資本合計	5,168,392	5,416,260
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31,739	31,258
評価・換算差額等合計	31,739	31,258
純資産合計	5,200,131	5,447,518
負債純資産合計	7,571,515	7,814,940

(2) 四半期損益計算書

(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	2,330,007	2,512,662
売上原価	1,083,001	1,165,516
売上総利益	1,247,006	1,347,145
販売費及び一般管理費	804,905	835,970
営業利益	442,101	511,174
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,128	3,717
為替差益	1,580	6,973
業務受託料	—	9,000
その他	1,079	449
営業外収益合計	5,788	20,140
営業外費用		
支払利息	3,824	3,801
その他	—	504
営業外費用合計	3,824	4,305
経常利益	444,065	527,009
特別損失		
固定資産除却損	1,294	542
特別損失合計	1,294	542
税引前四半期純利益	442,770	526,466
法人税、住民税及び事業税	135,770	160,551
法人税等調整額	5,800	7,000
法人税等合計	141,570	167,551
四半期純利益	301,199	358,915

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	442,770	526,466
減価償却費	74,273	70,508
売上債権の増減額 (△は増加)	△127,294	△115,127
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△40,865	△19,599
仕入債務の増減額 (△は減少)	14,873	△11,990
その他	△67,484	5,180
小計	296,272	455,438
利息及び配当金の受取額	3,124	3,711
利息の支払額	△3,808	△3,811
法人税等の支払額	△114,714	△169,419
営業活動によるキャッシュ・フロー	180,873	285,918
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△49,324	△8,221
その他	481	3,225
投資活動によるキャッシュ・フロー	△48,843	△4,996
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20,000	—
長期借入れによる収入	200,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△200,000	△100,000
自己株式の取得による支出	—	△50
配当金の支払額	△65,670	△111,361
その他	△19,200	△19,110
財務活動によるキャッシュ・フロー	△104,871	△130,522
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	771
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	27,179	151,170
現金及び現金同等物の期首残高	1,903,770	2,336,787
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,930,950	2,487,958

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。